



● 今月の主な内容

【特集】ゆめ・ぽけっと—あなたの子育てを全面サポート—	2
写真で見る地域情報	6
第44回 佐賀城下栄の国まつり	8
おしらせ	22
こどものページ	28
イベント案内	32
7月の相談コーナー	34
東よか干潟のラムサール条約湿地登録記念イベント	36

ママ～気持ちいいよ～♪

子育て支援センター「ゆめ・ぽけっと」では、皆さんの子育てをサポートする催しを各種開催しています。

特集記事は2～3ページに掲載しています。

写真：助産師によるふれあい講座
「ママの手は魔法の手」のようす



エスプラッツ2階にある子育て支援センター「ゆめ・ぼけっと」は、連日、多くの妊婦さんや就学前の子どもを持つ保護者、子育て支援関係者でにぎわいを見せる。

「行きたい時に行く、そこに行けば誰かに会える、見守っているスタッフがいる、子育て仲間がいる、多様な情報が得られるなど、私たちは皆さんの子育ての日常を豊かにしたいと思っています。佐賀に転入してきた

ちゃんとのふれあい方を楽しみながらも真剣に学んでいた。多い時は募集開始から30分以上で予約が埋まることもあるほどの人気ぶりだ。

参加者からは「あたたかい雰囲気です。産婦人科のお話も素敵で、まずまず子どもが愛おしくなりました。」との声も聞かれた。

次にご紹介するのは「プレママ&プレパパサロン」(偶数月の日曜)。

ゆめ・ぼけっと

—あなたの子育てを全面サポート—

ばかりで、佐賀の子育て情報が欲しい人にも、ご利用いただきたいです。」と語るのは所長の徳島富士子さん。

「ゆめ・ぼけっと」では対象を市民に限定しないイベントが数多く開催されている(エスプラッツ利用者が対象のため)。

最初にご紹介するのは助産師によるふれあい講座「ママの手は魔法の手」(年間4回)。

取材当日も30組弱の親子が赤

妊婦体験や沐浴体験など、お父さんの体験が中心のサロンのため、「妊娠中の妻をいたわる大切さを知り、夫婦で親になる心構えができてよかった。」と参加者に大変好評だ。

最後にご紹介するのは離乳食講座(年2回)。

実際に保育所で離乳食を作っている調理師・栄養士を講師に招き、講演のほか、離乳食の展示や試食もある。



「同じ食材でも味付けで子どもの食べ方が変わることを知り驚く参加者が多いです。毎回好評のため、調理師さんの協力を得て、「離乳食ミニ講座」を開催できないか検討中です。」と徳島さん。

このほかにも、ゆめ・ぼけっと誕生祭(4月20日前後)やファミリーフェスタ(12月の第1日曜)、マタニティサロン(奇数月の木曜)、親子でコミュニケーション(年間5回)、サガンバサロン(毎月1回日曜)、管理栄養士による栄養相談(毎月1回)、育児講演会(今秋開催予定)など、皆さんの子育てをサポートするイベントや講座がたくさん開催されているので、自分にあつた講座に気軽に参加してほしい。(日時など詳しくは「ゆめ・ぼけっと」ホームページを参照)

徳島さんは「まだまだ施設の存在を知らない人や施設の存在を知っていても、あと一歩が踏み出せない人が多いと感じています。そのような人のために、パンフレットを健康づくり課や保育幼稚園の窓口、公民館に設置したり、広報誌「ぼけっとだよ

り」を児童センター(中央・北部)で配布のほか市ホームページに掲載したりしています。「ゆめ・ぼけっと」を身近に感じてほしいです。」と話す。

来館者数が年々増えているのもこういう地道な活動が奏功しているのだろう。

「ゆめ・ぼけっとには自由に来館して遊ぶことができる「子育て交流ひろば」のほか、地域の公民館などで開催されている子育てサロン・サークルに出向いて支援する「サークル支援」、育児と仕事の両立をめざし、支援がほしい人と支援をしたい人をつなぐ「子育てサポートセンター」などがあります。

子どもを中心に家庭だけでなく地域のさまざまな人たちと一緒に子育てできる環境を目指して、スタッフみんなで頑張っています。子どもたちの笑顔にあふれ、その子どもたちを取り巻く大人たちも笑顔にあふれ、みんなが笑顔で子育てに幸せを感じられたらいいですね。」と徳島さん。

ゆめ・ぼけっとで子育てのひとときを過ごし、一人でも多くの人に「佐賀で子育てできてよかった」と思ってもらいたい。



子育て支援センター「ゆめ・ぼけっと」

〒840-0826
佐賀市白山二丁目 7-1 エスプラッツ 2階
☎40・7287
■開館時間 10時～19時(日曜は17時)
■休館日 毎週火曜、祝日(土日を除く)、年末年始
■入館料 無料



企画・編集 本庁 秘書課 広報係 ☎40・7021 FAX24・3463